

ワークス・ジョブカレ通信

～ココロつなぐかけ橋～ 1月号

平成27年1月5日発行
社会福祉法人 グロー
～生きることが光になる～
びわ湖ワークス・ジョブカレ
東近江市躰光寺町 250 番地
TEL0748-42-3715



今月の1枚

フォトスタンドには当日の思い出の写真を入れました!

毎年恒例の忘年会、今回はワークスの食堂を飛び出して、ホテルで行いました（アズイン東近江さまお世話になりました）。ボランティアグループのあおい空の皆さんを始め、ご家族やOGさんも加わって、楽しくお鍋をいただきました。腹話術に笑ったり、フォトスタンドに飾りをつけたり、抽選会で盛り上がりたりと、楽しい時間を過ごしました。

あけましておめでとうございます

びわ湖ワークス 所長 松田裕次郎

私が滋賀県で仕事をするために引っ越してきた時、父から「人生の旅の荷物は夢ひとつ」という言葉をもらいました。平成27年が始まり、今年一年をどんな年にしたいか？そう考えた時、改めてこの言葉が浮かんできました。

今年も、びわ湖ワークスとジョブカレの利用者さんで、就職したい人、目標を持って頑張っている人、どうしようか悩んでいる人、そんなみなさん全員を力いっぱい応援していきたい。少しでもみなさんの「人生」という旅のお手伝いができるようにしていきたいと考えています。

でも実は、私の「人生」の旅をみなさんがお手伝いしてくれているのだとも言えます。今年もいっしょに「人生」という旅しましょう。よろしくお願ひします。

日々是好日 このころ思うこと・・・

「新鮮な気持ち」というタイトルだったと思う。今から30年以上も前、中学校の入学式で渡された国語の教科書に「人は経験を重ね慣れることによって、感動する心や新鮮な気持ちが薄れていく。新鮮な気持ちは維持していくことが難しい」といった内容の文章があった。作者が誰かは忘れてしまったが、時折その文章を思い出しては反省を繰り返している。

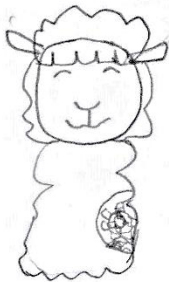
通勤途中、施設外就労の会社に向かうTさんを見かけることがある。彼女は、送迎車を利用していたが、10分の道のりをK社へ徒歩で通えるように練習中だ。ご家族のご理解とご協力、彼女の頑張りが、一步ずつ、前に進む力になっている。雨の日、彼女の後姿を見かけた時、鞆にたくさんのマスコットが揺れていた。彼女にとって頼もしい応援団のようだった。

今年も、私たち支援者は、みんなの「一生懸命」を応援していきたい。いつも新鮮な気持ちを持ち続けて。

1月の予定

ワークス

- 自主製品
 - ・製麺作業
 - ・製菓作業
 - ・「いっぺき」にて接客業務
 - ・自主製品販売
- 施設内作業
 - ・部品組み立て、ケーブル巻き
 - ・ペットボトルキャップ洗浄
- 施設外作業
 - ・エアコン室外機部品組み立て
 - ・浄水器部品検品 ・掃除機部品組み立て
 - ・パネル固定具製造工程
 - ・ポスティング ・畑作業
- 施設外就労実習
 - ・店舗清掃作業 ・ホテル朝食スタッフ補助
- 行事予定
30日 太極拳



今月のイラスト Oさん

ジョブカレ

- 施設内作業
 - ・ブラインド部品作成
 - ・自動車部品シールはり
- 施設外就労実習
 - ・パネル固定具製造工程
 - ・チラシ封入作業
 - ・畑作業
- 行事予定
6日 初詣 近江神宮
30日 太極拳



職員研修・会議・出店など

- ・12日 発達障害の人への支援セミナー
- ・15日 イチオシネット情報交換会
- ・25日 グロー公開講座
- ・26日 ジョブカレ日中支援部門会議
- ・26日 研修 行動分析のABC
- ・28日 ジョブカレ生活支援部門会議
- ・28・29・30日 発達障害就労移行研修会

お知らせ

社会福祉法人グロー 平成26年度 公開講座

●基調講演「発達障害のある人のために周囲の私たちができること」

鹿児島大学教育学部 教授 肥後祥治氏

●鼎談「支援現場で向き合うために」

・肥後祥治氏（鹿児島大学）・松田裕次郎（びわ湖ワークス）・野村文美（れがーとケアホーム）

日時 平成27年1月25日（日） 13:15～17:00（12:30～受付）

場所 滋賀県立男女共同参画センター 大ホール（近江八幡市鷹飼町80-4）

申込み 申込み用紙がびわ湖ワークスにあります。ホームページ（<http://glow.or.jp>）にも掲載してあります。必要事項をご記入の上 FAX または郵送にてお申し込みください

職員リレートーク

生活支援員 満谷 直樹

この一年で自分の生活は大きく変わりました。夏に結婚式を挙げて、親元から少し離れて奥さんと二人の生活が始まりました。息をつく間もなく、クリスマスには子供が生まれ父親になりました。短い期間で色々な事が変わって大変でしたが、少しずつ新しい生活に慣れ、新たな人達と関わりを持つことはとても楽しいものでした。

びわ湖ワークスでもゼロクッキーの下請けのお仕事から施設外就労中心の業務へと大きな変化がありました。まだまだ改善点も多く大変ですが、びわ湖ワークスも親元から離れ、ようやく自分達だけで歩き始められたのかなと感じます。まだまだヨチヨチ歩きかもしれませんが、自分たちで考え、悩み、実行していく事はより良い未来につながっていると思います。

利用者の皆さんと共にびわ湖ワークスをより良い仕事場になるように、そしてひとりでも多くの利用者さんが就労できるように頑張りたいと思います。

編集後記

クリスマス商品の製造・販売で忙しい時期が落ち着く。試食を食べ美味。でもそれだけじゃない、納得のいくものを試行錯誤。季節限定商品のスノーボールは店頭には並べたら即完売という声も。製麺の日もあった。利用者と共に乗り越えた忙しい日々だが充実。新年も頑張ろう！（Y）